

令和5年度

「空き缶回収の収益金で社会貢献」

kagoshima local network

みなみネット

いちき串木野市と薩摩川内市の2中学校の生徒会が、独自の活動で得た収益金を地域に還元する社会貢献に取り組んだ。

串木野西中学校の生徒はキャンドルと、タイルを使ったコースター計18個を手作りし、2日の文化祭で販売した。売り上げは赤い羽根共同募金に寄付する。

生徒会役員が初めて企画。市社会福祉協議会の助成金を活用して材料を調達し、夏休みに希望者が集まって製作した。1個500円以上の任意の値段で販売すると、保護者ら来場者が次々と購入した。生徒会長の3年西川璃乙さんは「寄付が支援を必要とする人の役に立てばうれしい」と話した。

薩摩川内市の海星中学校の生

活動の益金で社会貢献



串木野西中、海星中(薩摩川内)生徒会

徒たちは空き缶回収で得た益金で、おもちゃを購入して近くの幼稚園に贈った。家庭科実習の3年生9人が10月25日、柔らかいバットやボール、エプロンシアターなどを手作りのおもちゃとともに持参して一緒に遊んだ。

(鶴園悠太、田上恵以)



手作りしたキャンドルなどを販売する串木野西中学校の生徒ら。いちき串木野市の同校と空き缶回収の収益金で購入したエプロン姿で実習する海星中学校の生徒。薩摩川内市の幼稚園

南日本新聞掲載【11月10日】